

目次

—	図書館の基本を求めて II
『風』	『三角点』
2004	2006
〜	より
—	—

ベストセラー複本購入批判には根拠がない——「公共図書館貸出実態調査」報告書を読む——	
カウンター業務委託の図書館を見て	17
自動貸出機は「自己の尊厳を守る機器」か	22
何のための図書館評価か	27
ご都合主義の『週刊文春』問題	32
何かおかし「利用者満足度」	37
普通の利用者の視点で、目新しいことに惑わされずに	47
課題解決のための「貸出」	52
新着図書の棚は生きているか	57
小さな村の図書館を訪ねて	62
『図書館に訊け!』を読む	67
英米の図書館の光と影	72
岡山県立図書館の賑わい	80
なぜビジネス支援コーナーか	85

iii 目次

黒崎義博さんの思い出	90
組織としての図書館サービス	95
貸出カウンターの光景	100
教育論議と図書館	105
時代が逆戻りしている	110
司書をめぐる論議	115
「官から民へ」の声の中で	120
ゆうき図書館見学記	125
統計と図書館評価の虚実	130
子どもの時の図書館体験	135
時流に流されることの危うさ	140
何のための新しい技術か	145
当たり前のサービスの意義	150
図書館は町のたからもの	155

カウンター業務委託の現場 160

ガラクタの効用 165

横並びの図書館づくり 171

『風』2004～2006タイトル一覧 176

あとがき 177